

第二級陸上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入(マーク)すること。

法 規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問 }

法

規

〔1〕 無線局の予備免許が与えられるときに指定される事項は、次のうちのどれか。

1. 無線局の種別
2. 無線局の目的
3. 運用許容時間
4. 無線設備の設置場所

〔4〕 電波法施行令に規定する「陸上の無線局」に該当するものは、次のうちのどれか。

1. 海岸局
2. 固定局
3. 航空局
4. 放送局

〔2〕 免許人が混信を除去するために電波の型式及び周波数の指定の変更を受けようとするときは、どうしなければならないか。正しいものを次のうちから選べ。

1. 総務大臣にその旨を申請する。
2. 総務大臣にその旨を届け出る。
3. あらかじめ総務大臣の指示を受ける。
4. 免許状を総務大臣に提出し、訂正を受ける。

〔5〕 無線従事者は、無線通信の業務に従事しているときは、免許証をどのようにしていなければならないか。正しいものを次のうちから選べ。

1. 通信室内の見やすい箇所に掲げる。
2. 通信室内に保管する。
3. 無線局に備え付ける。
4. 携帯する。

〔3〕 電波の型式を表示する記号で、電波の主搬送波の変調の型式が角度変調であって周波数変調のもの、主搬送波を変調する信号の性質がデジタル信号である2以上のチャネルのもの及び伝送情報の型式が電話(音響の放送を含む。)のものは、次のうちのどれか。

1. A3E
2. F3E
3. F7E
4. F8E

〔6〕 第二級陸上特殊無線技士の資格を有する者が、1,606.5キロヘルツから4,000キロヘルツまでの周波数の電波を使用する陸上の無線局の無線設備(多重無線設備を除く。)の外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作を行うことができるのは、空中線電力何ワット以下か。正しいものを次のうちから選べ。

1. 50ワット
2. 30ワット
3. 20ワット
4. 10ワット

第二級陸上特殊無線技士試験問題

法

規

〔7〕 電波法の規定により無線局になるべく擬似空中線回路を使用しなければならないのは、次のうちのどれか。

1. 他の無線局の通信に混信を与えるおそれがあるとき。
2. 工事設計書に記載された空中線を使用できないとき。
3. 無線設備の機器の取替え又は増設の際に運用するとき。
4. 無線設備の機器の試験又は調整を行うために運用するとき。

〔8〕 無線従事者がその免許を取り消されることがあるのは、次のうちのどれか。

1. 日本の国籍を失ったとき。
2. 刑法に規定する罪を犯し、罰金以上の刑に処せられたとき。
3. 不正な手段により無線従事者の免許を受けたとき。
4. 5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。

〔9〕 免許人又は登録人（包括免許人又は包括登録人を除く。）は、除外規定がある場合を除き、無線局の免許又は登録（以下「免許等」という。）を受けた日から起算して何日以内に、また、その後毎年その免許等の日に相当する日（相当する日がない場合は、その翌日）から起算して何日以内に電波法に定める電波利用料を国に納めなければならないか。正しいものを次のうちから選べ。

1. 60日
2. 30日
3. 14日
4. 10日

〔10〕 免許人又は登録人は、非常通信を行ったときは、どうしなければならないか。正しいものを次のうちから選べ。

1. 直ちに総合通信局長（沖縄総合通信事務所長を含む。）に電話連絡する。
2. 遅滞なく地方公共団体の長にその旨を通知する。
3. 地方防災会議会長にその旨を通知する。
4. できる限り速やかに、文書によって、その旨を総務大臣又は総合通信局長（沖縄総合通信事務所長を含む。）に報告する。

〔11〕 免許人は、免許状に記載された住所を変更したときは、どの措置をとらなければならないか。正しいものを次のうちから選べ。

1. 無線設備の設置場所の変更申請をしなければならない。
2. 遅滞なくその旨を届け出なければならない。
3. 免許状の訂正を受けなければならない。
4. 免許状を訂正し、その旨を報告しなければならない。

〔12〕 固定局の免許状は、掲示を困難とする場合を除き、どの箇所に掲げておかなければならないか。正しいものを次のうちから選べ。

1. 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所
2. 無線局のある事務所の見やすい箇所
3. 受信装置のある場所の見やすい箇所
4. 通信室内の見やすい箇所